

【6月5日】

絶好の登山日和となり、7時過ぎに旅館を出発し7時40分にはクマ鈴を装着し登山を開始する。気温は駐車場に止めた車の外気温計で12℃程度、少し寒いが清々しい朝だ。14時頃までには下山する必要がありタフな登山となりそうだ。歩き出すとなだらかな登山道で登りやすいが、やはり周囲の植物観察などをしながらゆっくり登ることになった。最初の沢では外からの種子等の持ち込み防ぐために靴底を洗うように依頼する看板があった。五合目(370m)までは針広混交林となっており、ナナカマド、アオハダトドマツ、アカエゾマツなどの自然林が広がる。五合目山小屋に到着したのは9時半過ぎ、少し休んでいる間にこの後の行動計画を検討し、これから急坂になること、妻の疲労具合も考慮し頂上を諦め、妻を五合目に残し私が行ける所まで登山することとした。五合目からはアカエゾマツを主体とした針葉樹林帯でかなり見通しが良くなり、かんらん岩の岩体が目立つようになる。早速かんらん岩体の上に座り満足した私がいる。かんらん岩それ自体はほとんど風化しておらず重量感があるが、流石に緑色に輝いていることはない。しかし新鮮で汚れが少ない部分は青緑色をしている。30分ほどかけて7合目まで登ると周りはハイマツとなり見通しが開け、頂上もはっきりと確認できた。反対側に目を転じると太平洋が広がっていた。下を見るとかんらん岩に沿って高山植物も見ることができた。七合目半くらいまで登ったようだが、時刻は11時となり後ろ髪を引かれながら引き返すことにした。五合目で軽く昼食をとり、駐車場に戻ったのは13時40分頃。少し休んで14時過ぎに約250km離れた洞爺湖有珠山世界ジオパークに向けて出発した。(写真-33~43) 今晚宿泊予定のホテルは洞爺湖湖畔にあり、洞爺湖を広く展望できるとのこと。日没前に到着できるか微妙であると思われたが、国道245号・道南自動車道経由で順調に進行でき6時10分頃ホテルに到着できた。写真-44は、日没前の洞爺湖の風景で遠くに羊蹄山が見える。洞爺湖温泉は北海道三大温泉の一つでこれまでの疲れをゆっくり癒やすことが出来た。



写真-33 世界ジオパークアポイ岳登山口



写真-34 足洗い場



写真-35 三合目付近針広混交



写真-36 かんらん岩体の上で



写真-37 五合目から上の登山道



写真-38 五合目山小屋